

4 プレゼンテーションに関する質疑応答

●「高知城のお膝元 日曜市」

知事： 確かに日曜市は高知県が全国に誇るもので、日本で一番古くて長い街路市だそうです。ちなみに、路面電車も日本で一番古くて長いです。そういう日曜市を全国に誇る高知の強みとして生かしていきたいです。「高知城からはりまや橋商店街、かるぽ一とくらいまでの東西の部分をどうやって元気にさせていこうか」、今、高知県と高知市で一生懸命プランを練っています。この東西の軸は、山内家の藩政時代から高知県の中心です。大河ドラマ「龍馬伝」があり、そのパビリオンなどにたくさんのお客さんが来てくれるでしょうが、これも1年で終わります。終わった後でもお客さんが来てくれて、観光客もたくさん呼び込むことのできるような高知市の中心部をこれから作っていきたいと思っています。

例えば、一つの大きなテーマが、日曜市をどうするかです。アンケートを取ったら、「休憩所が欲しい」、「トイレが少ない」という話が多かったのは、確かにおっしゃるとおりで課題かもしれません。高知市は、人手不足と財政難で少し難しいというお話ですが、ぜひそういう形でものごとを進めていければいいなと思っています。よく考えてみたいと思います。

それから「はじめての日曜市」という児童を中心としたイベントは、なるほどと思いました。例えば具体的にどのようなことをやろうと考えていますか。

生徒： 「はじめてのおつかい」というテレビ番組みたいな感じで、小さいお子さん方を持っているお母さん方とかに日曜市に来ていただいて、日曜市内だけでお買物をしてもらおうと思っています。例えば、小さいお子さんたちがネームの札をかけて、「これとこれを買ってきて」とお母さんに頼まれたものを一生懸命探して買ってくるということをしていただきたいなと。日曜市内でしたら、人の目もあるので安心してできるのではないかと思います。

知事： 先ほど私が言ったように、これから高知県は地産地消のみならず、地産外商を進めていかなければいけません。観光客の皆さんに高知に来てもらい、お金を使ってもらうことも地産外商です。観光客の皆さんがたくさん来てくれるようなまちづくりをすることは、これからの高知県にとってすごく大切な課題だと思います。高知県内だけだと人口が減っているのだから、その分観光客の皆さんに来てもらって、にぎわいのある町にしていきたいと思っています。日曜市は県外からのお客さんですごくにぎわっている、観光客を呼べるまちづくりができているところです。だから、高知県の本当の強みだと思います。日曜市をもっと伸ばしていきたいですから、今回いいアンケート調査をしてくださり、私たちにとっても本当に役に立つと思っています。「観光客を呼べるまちづくりはどんなだろう」と今後も考え続けていただきたいと思っています。

教育長： このアンケートすばらしいです。せっかくアンケートをして、すばらしいデータを持って高知市役所に乗り込んだけれど、色好い返事をもらえなかった。世の中に出る

と、こうしたらいいと分かっているけどできないことがよくあります。それも一つの勉強だったかもしれませんが、でも核心を得た調査と提案だと思います。市役所ができなかったら、ではどうやってやろうかと考えたところもすばらしいと思います。

知事： やったらいいに決まっているけどなかなかできないことも、どうしてもあります。幾つか理由があって、お金がない場合、お金がないのに加えてやらなければならない、やった方がいいと思うことが複数ある場合がある。そのうちのどれからやるのが一番いいか優先順位をつけることがあります。例えば日曜市でもいろいろな政策をやっていますが、その中でもまだ優先順位が低いからこれは少し先に置いてということもあったりします。社会に出たらそんなことばかりだと思います。ただ、このアンケートを見ると優先順位が高そうです。